

平成20年度岩手県立図書館協議会(H21.2.25開催)における御意見等への対応状況

(平成22年1月31日現在)

御意見等	対応状況
<p>(1) デポジット・ライブラリー機能について</p> <p>市町村立図書館等で不要になった資料を、県立図書館が受け入れ、保存するデポジット・ライブラリー(保存図書館)の機能について、市町村立図書館等の職員と検討し、ルールづくりをして欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ デポジット・ライブラリーについて、平成21年度「図書館等調査研究会」(市町村立図書館職員11名、県立図書館職員6名による研究グループ)において研究課題として取り上げ検討。 ・ 「デポジット・ライブラリー収集指針」を作成し、同指針に沿って資料を選定する方向。現在、市町村立図書館から除籍リストの提供を受け、業務量を算出しているところ。 ・ 平成22年度は、収集指針を作成するとともに、資料搬入等具体的な実施方法を検討する予定。 ・ 可能であれば、平成23年度から、郷土資料について先行実施していく予定。
<p>(2) 外国語で書かれた児童書の情報提供について</p> <p>平成22年度から、小学校において外国語活動が導入される。教材を揃えなければならないので、児童用図書のうち、外国語で書かれた図書について、情報を提供して欲しい。</p>	<p>該当資料のリスト作成を行い、11月に当館ホームページに掲載。</p> <p>ホームページの掲載については、小学校に配信している「児童向けメールマガジン」により、12月に周知。</p>
<p>(3) 県立図書館の施設開放について</p> <p>児童図書研究室やお話し室を、県民に開放して欲しい。</p>	<p>お話し室、ミニシアターなど、当館の施設開放について、引き続き検討を進めているところ。</p>